

タマネギの管理

～今後の管理が、タマネギの収量に直接影響を与えます～

3月で追肥を終え(止め肥)、4月からは本格的に防除の季節となります。病害が発生してからの治療散布ではなく、発生する前に予防散布を行うよう心がけましょう。

また、過去にも管内において病害(べと病、疫病)の発生が確認されているため、再度、防除例を下記にて掲載させて頂きました。

今後も天候や病害の発生状況を考慮して防除情報を記載しますので参考にして下さい。

べと病や疫病は雨による泥はねや水たまりから感染します。



1. 防除

【防除例】

散布時期	薬剤名	対象病害
4月上～中旬	プロポーズ顆粒水和剤	べと病、白色疫病、灰色かび病
4月下～5月上旬	ランマンフロアブル +ベルコート水和剤	べと病、白色かび病+灰色かび病 灰色腐敗病
5月中～下旬	リドミルゴールドMZ	べと病、白色疫病
収穫直前	ファンタジスタ顆粒水和剤	灰色かび病、灰色腐敗病

- ・タマネギは水を弾いてしまう為、必ず展着剤<ニーズ>と混用し散布しましょう。
- ・降雨や強風後は、葉や茎を観察するよう心がけましょう。
- ・病害発生株は、発見次第抜き取りほ場の外へ除去して下さい。
- ・農薬は、ラベルを熟読の上使用して下さい。

【農薬の登録内容・金額】

薬剤名	倍率	1a 当り 使用量	使用回数	収穫前
リドミルゴールド MZ	5,000～1,000	10～30L	3 回以内	7 日前まで
プロポーズ 顆粒水和剤	1,000	10～30L	3 回以内	7 日前まで
ランマンフロアブル	2,000	10～30L	4 回以内	7 日前まで
ベルコート水和剤	1,000	10～30L	5 回以内	前日まで
ファンタジスタ 顆粒水和剤	2,000～4,000	10～20L	5 回以内	前日まで
ニーズ（展着剤）	5～10ml／散布液 10L			

2. 排水対策

- ・当地区は4月に降水量が多くなるため、停滞水が発生しないように明渠の掘り直し、排水溝への接続をしっかりと行う。
- ・降水より1週間程度で病気が広がる可能性もあるので注意が必要。

にんにくの管理

1. 春腐病対策

～茎葉が病気に侵されると株がとけてしまうので予防的に防除することが重要～

- ・病原菌（細菌）は12月に入って季節風や凍霜害によってできた傷から侵入し、春になり気温上昇により拡大する。気温10℃前後の低温、多湿環境で発病し始める。
- ・前年発生ほ場は必ず防除する。収穫まで7～10日おきにZボルドーを予防散布する。発生してしまったらアグリマイシンを散布する。防除時期は4月～収穫まで

薬剤名	対象病害	希釈倍数	1a 当り 使用量	使用回数	収穫前
Zボルドー	春腐病・さび病 白斑葉枯病	500 倍	10～30ℓ	—	—
アグリマイシン-100	春腐病	1000 倍	10～30ℓ	3 回以内	7 日前まで

2. とう摘み・除とう（5月）

- ① 株から2本以上芽が出ている株は生育の良い株を残して早期に丁寧に根元から取り除く。
- ② 抽だいできたら随時早めに摘み取る。
- ③ 芽を収穫する場合は十分伸ばしてから珠芽（しゅが）の下部を収穫する。
珠芽（しゅが）とは…主に葉の付け根にできる芽の一種。

大根栽培のおススメ

～春まき大根の栽培に挑戦～

管内において、3・4月播種で栽培される「初夏どり大根」の収穫時期となる6月は、全国的に大根の出回りが少ない端境期となります。そこで、春まき大根の栽培にチャレンジしてみませんか？また、ファーマーズ御殿場では、周年を通じて需要のある作物であり、夏場を除けば、当地域でも周年で栽培が可能です。是非、周年栽培にも挑戦してみてください！！！！

下記にて6月に収穫時期を迎えるおススメの品種並びに、栽培方法を掲載させていただきました。

【Point】

栽培する季節に応じて品種を選びます。4月はトウ立ちしにくい初夏どり用を使用。

各営農経済センターにて注文できます。納品まではお時間頂きます。

【おススメの品種】

作物	メーカー	品種	播種時期	収穫時期
大根	タキイ	藤風	4月中旬	6月中旬～下旬

1. 大根の生理・生態的特徴

- ・発芽条件 発芽適温は15～30℃、最低4℃、最高35℃
- ・温度反応 生育適温は17～21℃、最低5℃、最高32℃
-5℃以下で凍害発生、42℃以上で高温障害が発生。

2. ほ場準備

- ・水はけの良いほ場を選ぶ。⇒排水が悪ければ高うねにする。
- ・大根は直根性で根が深く生育する為、できるだけ深く耕す。(30 cm以上)。
- ・石や雑草の根などを取り除く。

3. 施肥

資材名	資材名	元肥(Kg/1a当り)	備考
土壌改良剤	苦土石灰	9	播種の2週間前に施用
元肥	園芸化成S550	10	播種の1週間前に施用
	ようりん	4	

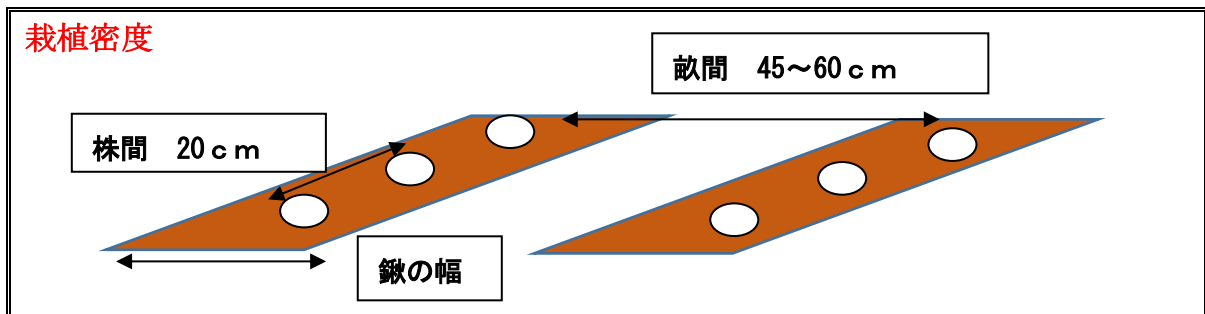
※堆肥は股根の原因となるため、前作に施す。

4. 防除

- ・ フォース粒剤をキスジノミハムシ対策で1 a 当り 600 g ~ 900 g 播種時に散布し土壤混和する。

5. 播種

- ・ ほ場が乾燥していたり、雨が少ない時期は、事前に灌水しておく。
- ・ 元肥を施用後覆土し、鍬の幅分鎮圧し、蒔き溝をつくる。
- ・ 条間 45 cm ~ 60 cm、株間 20 cm、溝の深さは 1 cm 程、1 つの穴に 3 ~ 5 粒を蒔き、厚さ 1 ~ 2 cm ほどに覆土する。
- ・ 播種後、覆土し、再び鍬で鎮圧する⇒発芽率が上がる。
- ・ 間引きは本葉が 5 ~ 6 枚頃までに行い、1 本立ちにする⇒芽が出てから 10 日後に間引き。



播種・定植の時期

管内優良生産者が過去に行った播種・定植カレンダーを掲載します。栽培の目安にお役立てください。

作物名	播種日	出荷開始日
さといも	4月9日	9月13日
まくわうり	4月10日	8月1日
ほうれんそう	4月10日	5月11日
ほうれんそう	4月28日	5月31日
はつかだいこん	4月10日	5月11日
はつかだいこん	4月28日	6月1日
根深ねぎ	4月10日	11月20日
葉ねぎ	4月30日	7月10日
下仁田ねぎ	4月30日	10月18日
だいこん	4月13日	6月14日
きゅうり	4月14日	6月18日
いんげんまめ	4月18日	6月22日
こまつな	4月20日	5月28日
ごぼう	4月28日	10月16日

※上記の表は播種の目安となります。